

ナノ・ガラス・コート・ジャパン

建築分野を開拓

車向けコーティング材応用

【千葉】ナノ・ガラス・コート・ジャパン（千葉市花見川区、土岐田雅信社長、043・215・2525）は、主力の自動車向けコーティング材を基に建築分野の開拓に乗り出す。ビル外壁・住宅向けの防汚コーティング材「ナノガラスコートXX50W」シリーズに、作業性を高めた改良品を追加した。リフォーム業者などへの提案を増やす。初年度に年間1千トンを生産予定で、約1000万円の売り上げを見込む。



「ナノガラスコートXX50W」をローラーで塗布

近年、建築分野でも表面の美観を維持する防汚性能や遮熱性能を高めた外壁コーティングが普及し始めており、この需要に対応していく。新築時だけでなく、リフォーム時やビルの清掃作業後の使用を多く見込む。「ナノガラスコートXX50W」は水性の1液性塗料で下地剤も不要。塗布作業が簡単なため、ハウスクリーニング業者などにも提案していく。

同製品は石英ガラスを平均80ナノ（ナノは10億分の1）の微粒子にして分散させ、乾燥時2倍（マイクロは

100万分の1）の薄膜でも効果が15年程度持続する。改良品は、料を添加した。紫外線により3日程度で脱色する。屋内使用向けに円程度。従来の無色透明品の販売も継続する。定価はともに4万円入りで4万円程度。